



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日
東

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所
 コード番号 3836 URL <https://www.avantcorp.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6388-6739
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	11,909	1.1	2,343	27.6	2,167	28.4	2,185	29.1	1,371	34.7
2020年6月期第3四半期	11,784	11.5	1,837	6.5	1,687	5.0	1,692	5.3	1,018	△1.2

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 1,407百万円(37.4%) 2020年6月期第3四半期 1,024百万円(△1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	36.48	—
2020年6月期第3四半期	27.09	—

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 2019年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	12,331	8,280	67.1
2020年6月期	11,780	7,194	61.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 8,280百万円 2020年6月期 7,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,110	2.7	2,520	10.6	2,505	9.8	1,628	5.9	43.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	37,603,203株	2020年6月期	37,586,982株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	2,911株	2020年6月期	2,911株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	37,593,957株	2020年6月期3Q	37,577,532株

(注) 2019年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)8ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2020年10月16日付けで譲渡制限付株式報酬として新株式を発行いたしました。当該新株式発行を反映した期中平均株式数を基に1株当たり(予想)当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）における連結業績は以下のとおりです。

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2020年6月期 第3四半期	2021年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	11,784	11,909	124	1.1
営業利益	1,687	2,167	479	28.4
経常利益	1,692	2,185	493	29.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,018	1,371	353	34.7

前連結会計年度の終盤には、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりIT投資を先送り若しくは投資額を減少する国内企業が見られ始め、当社グループの受注にも影響が出始めていたことから、特に当連結会計年度の上期の経営成績については慎重な見通しをたてておりました。

当社グループを取り巻く環境も、当初はこの見通しの範囲内で推移しておりましたが、その一方で様々な社会の変化は「データに基づいた経営・意思決定」の必要性を喚起しており、当社グループの製品・サービスへのニーズはより高度なものへと変容しながら、回復基調にあります。

このような状況下、連結会計関連事業については前連結会計年度まで主力であった大型案件収束の影響等もあり、減収となったものの、ビジネス・インテリジェンス事業は第2四半期より増収幅を拡大し、アウトソーシング事業は引き続き2桁成長を実現しております。これらの結果、連結売上高は11,909百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、わずかながらも増収に転じております。

中期経営計画において、経営目標のひとつとして掲げているストック売上（例えばソフトウェアの保守料など、継続的に発生する売上）比率の向上については、恒常的に90%前後のストック売上比率を維持しているアウトソーシング事業の成長に加え、連結会計関連事業及びビジネス・インテリジェンス事業でもクラウド売上の増加などによって比率が向上した結果、36.2%と前年同四半期より3.4ポイント増加しました。総額としても前年同四半期比14.1%増となっております。

利益に関しては、内製比率の向上などによるプロジェクトの収益性の向上や新型コロナウイルス感染症の拡大以降推進してきた不要不急の費用節減の効果やワークスタイルの変化に伴う交通費や水道光熱費などの一部費用の抑制によって、営業利益2,167百万円（前年同四半期比28.4%増）、経常利益2,185百万円（前年同四半期比29.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,371百万円（前年同四半期比34.7%増）と、いずれも前年同四半期よりも増加しております。

各報告セグメントの状況は以下のとおりです。

① 売上高

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2020年6月期 第3四半期	2021年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	6,330	5,937	△393	△6.2
ビジネス・ インテリジェンス事業	4,381	4,613	231	5.3
アウトソーシング事業	1,535	1,841	306	20.0
セグメント間取引消去	△462	△482	△20	—
連結売上高	11,784	11,909	124	1.1

② 営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期 第3四半期	2021年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	1,088	1,374	286	26.3
ビジネス・ インテリジェンス事業	561	660	99	17.8
アウトソーシング事業	368	460	91	24.9
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	△330	△328	1	—
連結営業利益	1,687	2,167	479	28.4

連結会計関連事業については、特に当連結会計年度の上期において、新型コロナウイルス感染症の拡大によるお客様のIT投資の鈍化や緊急事態宣言による経済活動の停滞などの影響があったことに加え、大型案件が収束した反動もあり、5,937百万円（前年同四半期比6.2%減）と前年同四半期から減少しております。一方で、内製比率の向上などによってプロジェクトの収益性向上に努めるとともに、不要不急のコスト削減を推進した結果、営業利益は1,374百万円（前年同四半期比26.3%増）と増加し、営業利益率も前年同四半期比5.9ポイント改善しております。また、クラウド売上や保守サポートのオプションなどの増加により、ストック売上比率が前連結会計年度よりも顕著に向上しております。

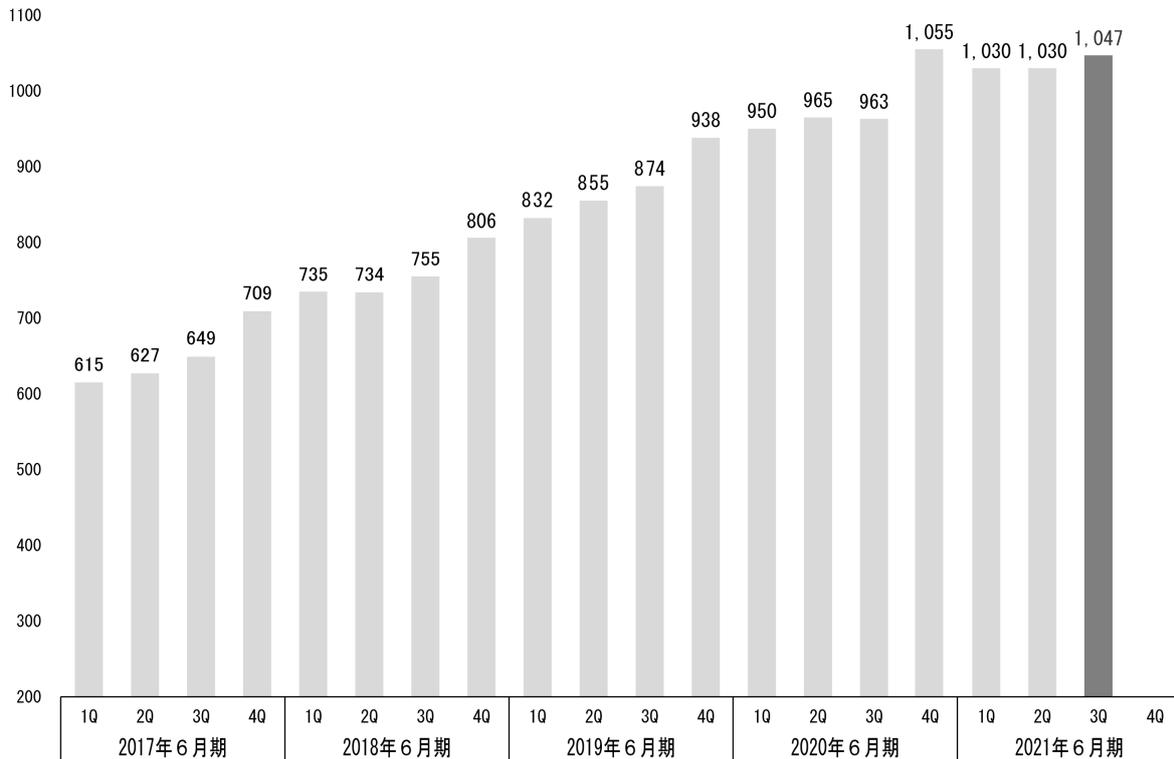
ビジネス・インテリジェンス事業については、国内企業の経営のデジタル・トランスフォーメーション推進に特に貢献できる事業であるため、中期的なニーズは高まっていくものと捉えております。すでに当第3四半期についてもその傾向が見られており、売上高は4,613百万円（前年同四半期比5.3%増）と第2四半期よりも増収幅を拡大することができました。営業利益についても、増収の影響およびコロナ禍によるワークスタイルの変化による交通費などの減少により、前連結会計年度に開設したオフィス関連費用などの固定的費用の負担をこなしながらも660百万円（前年同四半期比17.8%増）と増益を実現できました。

アウトソーシング事業についても、新型コロナウイルス感染症の影響による不透明性から、最終的な意思決定にあたって従来以上に慎重な傾向が見られるなど、市場の状況は必ずしも楽観視できる状況にはありませんが、創意工夫をもって営業・提案活動を推進した結果、売上高1,841百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益460百万円（前年同四半期比24.9%増）と2桁の増収増益を実現しました。

なお、連結従業員数は当第3四半期末で1,047名となり、前連結会計年度末から8名減少しております。

当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位:人)



当第3四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次のとおりです。

① 受注実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期		2021年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
連結会計関連事業	5,846	1,689	5,579	1,642	△267	△47
ビジネス・インテリジェンス事業	4,103	926	5,112	1,354	1,009	427
アウトソーシング事業	1,573	891	2,003	1,112	429	220
セグメント間取引消去	△368	△209	△574	△300	△205	△90
合計	11,155	3,298	12,121	3,807	966	509

② 販売実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期		2021年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	増減率(%)
	販売高	販売残高	販売高	販売残高		
連結会計関連事業	6,330		5,937		△393	△6.2
ビジネス・インテリジェンス事業	4,381		4,613		231	5.3
アウトソーシング事業	1,535		1,841		306	20.0
セグメント間取引消去	△462		△482		△20	—
合計	11,784		11,909		124	1.1

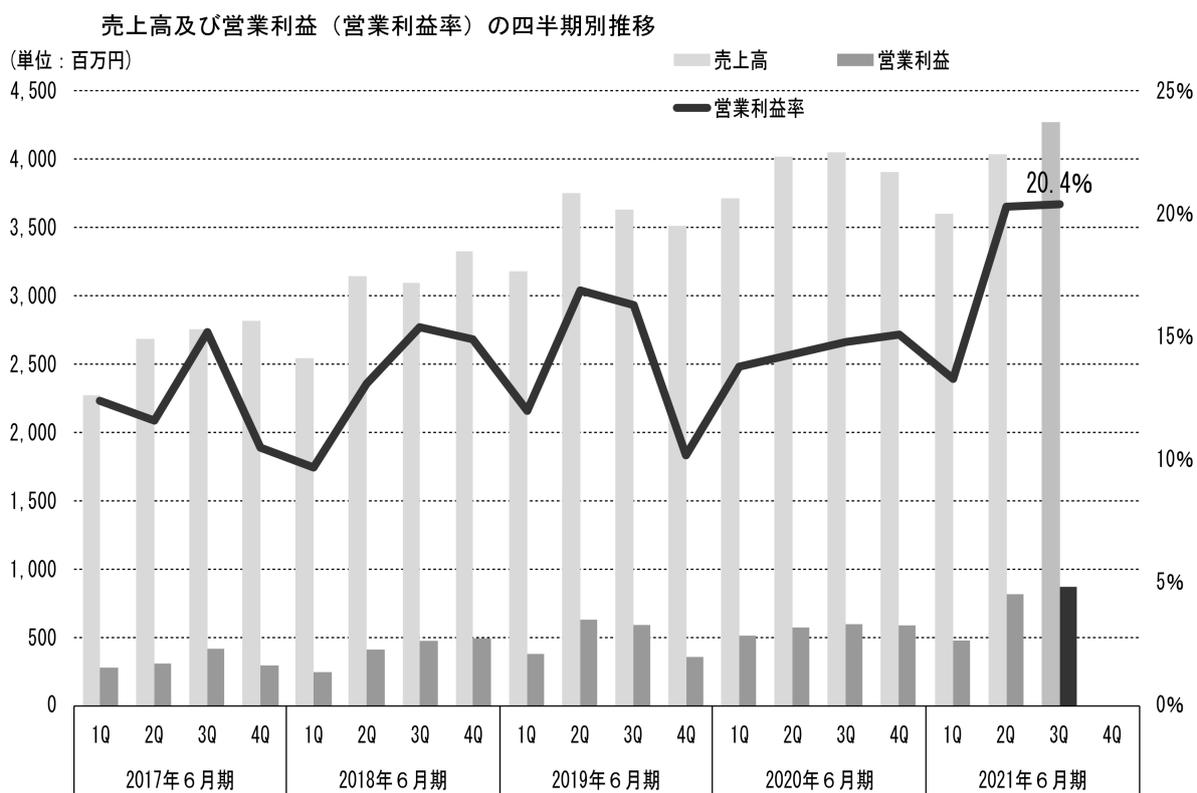
(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次のとおりです。

直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期	2021年6月期		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	3,906	3,601	4,036	4,271
営業利益	591	478	817	871
営業利益率 (%)	15.1	13.3	20.3	20.4



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、12,331百万円（前連結会計年度末比550百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金の減少425百万円、有価証券の増加489百万円などにより、流動資産が20百万円増加したことに加え、ITインフラ環境の整備などにより無形固定資産の増加289百万円、資本・業務提携契約の締結及び株式の取得による持分法適用会社への投資による関係会社株式の増加276百万円、オフィス閉鎖による敷金の減少37百万円などにより、固定資産が529百万円増加したことによるものです。

一方、負債合計は4,050百万円（前連結会計年度末比535百万円減）となりました。これは主に、未払金及び未払費用の増加252百万円、前受収益の減少536百万円、賞与引当金の減少252百万円などによるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益1,371百万円の計上と剰余金の配当338百万円の支払いなどにより、8,280百万円（前連結会計年度末比1,085百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は67.1%（前連結会計年度末は61.1%）と、前連結会計年度に比べ6.0ポイント向上し、有利子負債も少なく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、6,457百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、958百万円となりました。（前年同四半期は467百万円の獲得）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,186百万円、仕入債務の増加額85百万円、未払金及び未払費用の増加額101百万円などであり、減少要因の主な内訳は、賞与引当金の減少額252百万円、前受収益の減少額536百万円、法人税等の支払額649百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、519百万円となりました。（前年同四半期は258百万円の使用）

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出53百万円、無形固定資産の取得による支出234百万円、資本・業務提携契約の締結及び株式の取得による持分法適用会社への投資による支出269百万円などであり、収入の主な内訳は、敷金及び保証金の回収107百万円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、354百万円となりました。（前年同四半期は289百万円の使用）

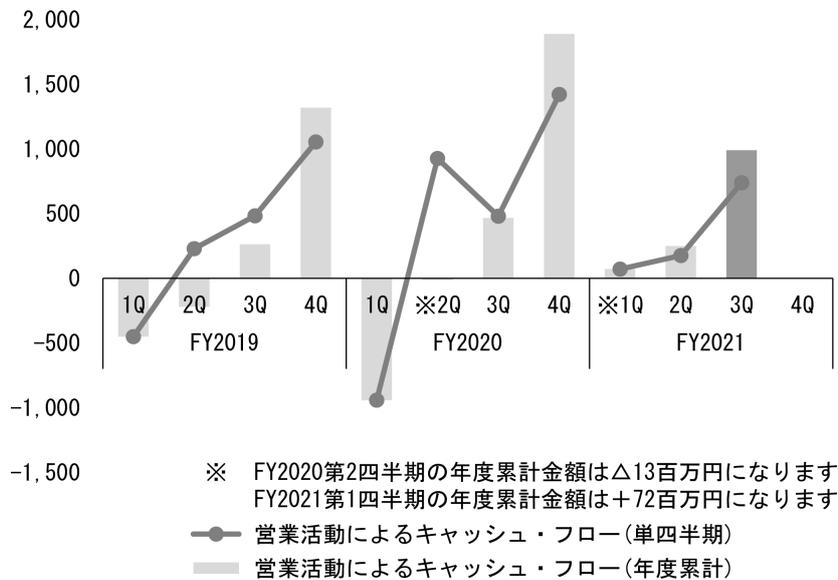
支出の主な内訳は、配当金の支払額338百万円などであります。

なお、当社グループでは、法人税等の支払や役員への業績連動賞与の支給などによって第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは低水準となり、第2四半期以降に徐々に増加し、通期でみるとプラスとなるのが通例となっております。

連結会計関連事業における保守料やアウトソーシング事業の支払手数料については、役務の提供前に年間分が前払いされることから、元より運転資金が殆ど必要のないビジネスモデルとなっています。反面、ビジネス・インテリジェンス事業は外注費等の支払いが先行するため、売上げが伸びるに従って増加運転資金需要が発生することになりますが、グループ全体の余剰資金を持株会社へ集中することにより、グループ間での円滑な資金融通を可能としている他、グループ全体としては、現金総保有高に加え、取引各行と総額35億円のコミットメントラインを設定しているところから、現状、資金繰りに懸念はなく、むしろ、今後は余剰資金を戦略的な投資に利用して行く意向です。

営業活動によるキャッシュ・フローの四半期別推移

(単位：百万円)



(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、当第3四半期の業績の進捗等を勘案し、2020年8月3日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2021年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社では2018年9月に新中期経営計画として、2023年6月期までの5ヶ年計画（5年後の達成目標）を発表しました。その3年目となる2021年6月期は、既存3事業を持続的に成長させながら、当中期経営計画の重要な目標のひとつであるストック売上比率の飛躍的向上に向けた各種活動も推進しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、一時は国内企業のIT投資の先送りや投資額減少の動きも見られたことから、特に当連結会計年度の上期については慎重な見通しをたてておりました。その一方でコロナ禍が引き起こした様々な社会の変化は「データに基づいた経営・意思決定」など、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の必要性を喚起しており、当社グループの製品・サービスへのニーズはより高度なものへと変容しながら、増加傾向にあります。

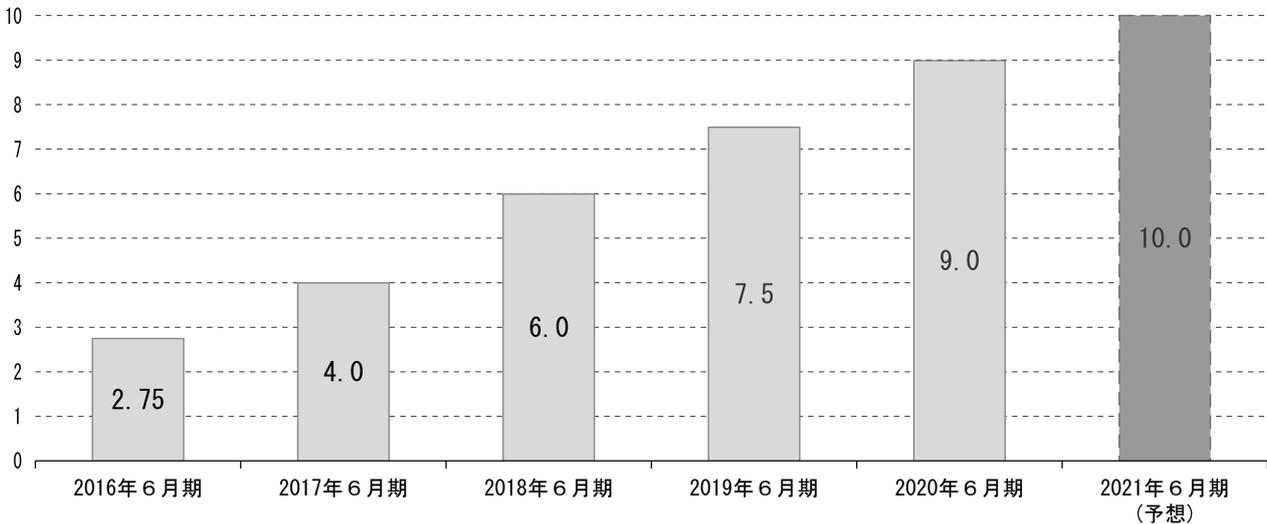
費用の面では、内製比率の向上による外注費の削減に努めていることに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が企業のIT投資へ与える影響が不透明であったことから、不要不急の経費削減に継続して取り組んでまいりました。その結果、期初の予想を上回る収益性の改善につながっております。

これらの結果として、当連結会計年度は売上高16,110百万円(前連結会計年度比2.7%増)、および営業利益2,520百万円(同10.6%増)の達成を予想しております。

配当については従来の方針に則り、純資産配当率について、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げて行く一方で、安定配当(原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと)を心掛けてまいります。当期の配当については同方針に則り、1株当たり10円を予想しております。

配当金の推移(株式分割調整後)

(単位:円)



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,335,623	5,910,007
受取手形及び売掛金	2,343,601	2,376,897
有価証券	10,783	500,000
仕掛品	140,960	160,329
原材料及び貯蔵品	15,587	52,691
その他	664,284	529,350
貸倒引当金	△5,610	△3,417
流動資産合計	9,505,230	9,525,858
固定資産		
有形固定資産	469,392	447,922
無形固定資産		
ソフトウェア	190,781	480,273
その他	744	716
無形固定資産合計	191,526	480,989
投資その他の資産		
投資有価証券	428,261	507,153
関係会社株式	—	276,407
敷金及び保証金	674,355	637,306
繰延税金資産	369,737	314,118
その他	142,101	141,317
投資その他の資産合計	1,614,455	1,876,303
固定資産合計	2,275,373	2,805,216
資産合計	11,780,604	12,331,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	428,418	513,660
リース債務	14,299	14,147
未払金及び未払費用	333,436	585,566
未払法人税等	122,303	236,407
前受収益	2,075,741	1,538,836
賞与引当金	719,089	466,320
役員賞与引当金	120,998	103,036
受注損失引当金	15,887	—
資産除去債務	—	8,497
その他	483,988	351,416
流動負債合計	4,314,163	3,817,889
固定負債		
リース債務	45,297	34,330
資産除去債務	226,810	198,763
固定負債合計	272,107	233,093
負債合計	4,586,270	4,050,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,271	311,568
資本剰余金	240,071	248,368
利益剰余金	6,618,666	7,651,808
自己株式	△476	△476
株主資本合計	7,161,533	8,211,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,859	68,519
繰延ヘッジ損益	6	28
為替換算調整勘定	△3,065	273
その他の包括利益累計額合計	32,800	68,821
純資産合計	7,194,333	8,280,090
負債純資産合計	11,780,604	12,331,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	11,784,699	11,909,637
売上原価	6,468,526	6,319,631
売上総利益	5,316,173	5,590,006
販売費及び一般管理費	3,628,688	3,422,929
営業利益	1,687,484	2,167,077
営業外収益		
受取利息	327	295
受取配当金	3,910	4,052
投資事業組合運用益	1,557	3,417
為替差益	266	6,528
助成金収入	2,220	6,524
貸倒引当金戻入額	—	2,193
その他	329	1,378
営業外収益合計	8,610	24,391
営業外費用		
支払利息	452	775
支払手数料	2,590	4,256
株式交付費	413	424
その他	—	71
営業外費用合計	3,457	5,527
経常利益	1,692,637	2,185,941
特別利益		
固定資産売却益	—	641
特別利益合計	—	641
税金等調整前四半期純利益	1,692,637	2,186,583
法人税、住民税及び事業税	630,759	779,716
法人税等調整額	43,796	35,467
法人税等合計	674,555	815,184
四半期純利益	1,018,081	1,371,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,018,081	1,371,398

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,018,081	1,371,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,971	32,660
繰延ヘッジ損益	9	22
為替換算調整勘定	1,213	3,338
その他の包括利益合計	6,193	36,021
四半期包括利益	1,024,275	1,407,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,024,275	1,407,420
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,692,637	2,186,583
減価償却費	149,561	184,960
株式報酬費用	6,144	10,201
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,756	△2,193
賞与引当金の増減額(△は減少)	△155,611	△252,768
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,384	△17,962
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△60,008	△15,887
受取利息及び受取配当金	△4,237	△4,348
支払利息	452	775
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△641
支払手数料	2,590	4,256
株式交付費	413	424
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,557	△3,417
助成金収入	△2,220	△6,524
売上債権の増減額(△は増加)	121,423	△33,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,653	△56,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,807	85,213
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	49,172	101,721
未払消費税等の増減額(△は減少)	73,531	△124,822
前受収益の増減額(△は減少)	△365,179	△536,905
預り金の増減額(△は減少)	△105,126	△66,871
その他	△6,799	146,036
小計	1,387,893	1,598,106
利息及び配当金の受取額	4,555	4,760
利息の支払額	△452	△775
助成金の受取額	2,220	6,524
法人税等の支払額	△926,239	△649,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,976	958,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	10,274
有形固定資産の取得による支出	△157,636	△53,568
有形固定資産の売却による収入	—	641
資産除去債務の履行による支出	—	△33,143
無形固定資産の取得による支出	△53,774	△234,341
投資有価証券の取得による支出	△10,870	△21,094
関係会社株式の取得による支出	—	△269,335
敷金及び保証金の差入による支出	△35,286	△30,247
敷金及び保証金の回収による収入	3,009	107,000
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
その他	317	8,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258,699	△519,955

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,104	△12,034
支払手数料の支出	△2,562	△4,109
自己株式の取得による支出	△71	—
配当金の支払額	△281,755	△338,256
その他	△413	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,907	△354,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,482	2,749
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79,148	86,696
現金及び現金同等物の期首残高	5,195,137	6,370,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,115,988	6,457,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,316,284	4,361,537	1,106,877	11,784,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,500	19,745	428,132	462,377
計	6,330,784	4,381,282	1,535,009	12,247,077
セグメント利益	1,088,237	561,198	368,656	2,018,091

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,018,091
当社とセグメントとの取引消去額	514,752
全社費用(注)	△846,499
その他	1,139
四半期連結損益計算書の営業利益	1,687,484

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,917,426	4,611,111	1,381,099	11,909,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,913	1,991	460,808	482,713
計	5,937,339	4,613,103	1,841,907	12,392,350
セグメント利益	1,374,306	660,904	460,581	2,495,791

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,495,791
当社とセグメントとの取引消去額	556,232
全社費用(注)	△883,893
その他	△1,054
四半期連結損益計算書の営業利益	2,167,077

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。